

つながり ひろがり とともに学ぶ 伊平屋の島発ち教育



令和五年十二月一日（金）二日（土）、離島振興総合センター及び村民大意間において、「幼児児童生徒一人一人に確かな『人間力』を身につけさせる」教育実践の成果を発表する島発ち発表会が開催されました。活動報告では教育委員会・学校部会（伊平屋中学校研究主任 石原早苗 教諭）・地域部会（伊平屋小学校PTA会長 與那嶺孝太）から、これまでの実践や各学校の校内研修の取組についての報告がありました。同時開催された展示の部では九二四点の力作がずらりと並び、多くの方が足を止めてご覧いただきました。

短期留学報告では、野甫中学校三年 前田倅奈さん、伊平屋中学校三年 末吉絵菜さんの二人が、海外で学んだことを全て英語でスピーチしました。

また、「しまくとぅば語やびら」北部地区大会の代表として、令和六年二月三日の県大会へ出場する伊平屋小学校三年 與那嶺彩音さん、与那覇彩世さんによる発表があり、マイクを使わずに大きな声と身振り手振りの発表で会場を沸かしました。

令和五年度 伊平屋村学力向上推進委員会実践発表会

第8号



たより

文責
伊平屋村
教育委員会
屋比久健太郎



第十回 伝統文化学習発表会

十二月十六日（土）、伊平屋村産業連携拠点センターにて、令和五年度第十回伝統文化学習発表会が行われた。「伝統文化学習の日」は「地域の優れた伝統や文化に関心を持ち、理解を深めるとともに、それらを尊重する態度を育てることを目指し、島への誇りと愛着を醸成し、地域伝統文化の保存・継承・発展を担う人材を育成する。」を実施目的としている。

「伝統文化学習の日」の取り組みが「持続可能な活動」になるよう、学校・地域・教育委員会の協力体制のもと今年度から各学校の「教育課程（授業）」の一環として取組が行われている。「島発ち後」のことも達が「故郷」を想い、「精神的な支え」となり、「いへやの伝統文化継承」に繋がる取組である。

